

.

山荘の庭の樹木が倒れるのは、珍しいことではありません。特にシラカバの木がクセモノです。もともと材が弱く、少し年月の経った老木は、ちょっとした強風で根元から簡単に倒れてしまうのです。シラカバは雑木なので、建築材にはなりません。薪にしても火力が弱く、また樹液が屋根を黒く汚すので、庭に植えないほうが良い樹木です。

時にはカラマツが倒れることがあります。先日も山荘滞在中に庭で「ミシミシ・・・ドーン！」という音がして、何事かと飛び出すと、カラマツが1本斜めに倒れていました。私の敷地ではなく、となりの敷地の山林にあるカラマツです。幸い、別の太いカラマツの幹にひかかって、地面までは倒れませんでした。

ところが、倒れた木の幹が電灯線を強く圧迫しています。東京電力に電話して「電柱番号」を伝ええると、連休中なのに1時間で中之条から駆けつけてくれました。検査の結果、「木は切断が必要で、近日中に作業します」・・・ということでした。樹木のある土地の地権者はわからなかったのですが、「それは心配ないのでお任せください」ということでした。

後日、私が不在の間に伐採作業をしてくれたようで、その様子がカメラに映っていました。その後山荘に行くと、倒木はすっかり撤去されて、電灯線の危機は取り除かれていました。更に、伐採した樹はきれいに切りそろえられて、林床に整然と積まれていました。これだけ迅速にすばらしい仕事をしてもらったのに、「費用は電力会社で負担します」とのこと。すごいぞ東京電力！！

(2025 年 5 月上旬／北軽井沢)

